

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ (4 単位)		SSMP3159 SNMP3358 SCMP3359 SBMP3159 SPMP3159 SSMP3158 PSMP2458
2. 授業担当教員	西尾 紀子	3. 科目番号	
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰの単位を取得した後に履修することが望ましい		
7. 講義概要	<p>ソーシャルワークの理論と方法Ⅱは、ソーシャルワークの基盤と専門職・ソーシャルワークの理論と方法Ⅰで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理、ソーシャルワークプロセスと付随する専門技術を前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、ソーシャルワーカーがクライアントや連携・協働を図る人との間で結ぶ援助関係の形成について学習する。こうした援助関係形成を土台として、関係者・関係機関とネットワークを構築していく方法、さまざまな社会資源を活用し、さらには社会資源を開発していく方法、関係者とともに解決策を模索するカンファレンスについて学習する。また、さまざまな利害が対立するなかで、関係者との調整を行うネゴシエーションやコンフリクト・レゾリューション、関係者間の連携・協働を促進するファシリテーションやプレゼンテーション、そうした活動をビジネスとして支えるソーシャル・マーケティングについて学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「ソーシャルワークの理論と方法 (専門)」に該当する科目である。</p>		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合的かつ包括的な支援の考え方とソーシャルワーク実践における家族支援、地域支援、非常時や災害時支援について理解する。</li> <li>2. ソーシャルワークにおける援助関係の形成方法や留意点について理解する</li> <li>3. ネットワーキングとコーディネーションについて理解する。</li> <li>4. ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発について理解する。</li> <li>5. カンファレンスについて理解する。</li> <li>6. 事例分析、事例検討、事例研究のそれぞれについて理解し、活用ができる。</li> <li>7. ネゴシエーション、コンフリクト・レゾリューション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャル・マーケティングについて、ソーシャルワーク実践での活用を理解する</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	毎回の授業にて、授業内容の振り返りや国家試験対策などの小テストや課題を出します。授業進行中間の時期と期末時期において、講義 (教科書) 内容に関しての理解を深めるために、レポートや課題を出します。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]』中央法規出版、2021 年 2 月。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7つの目標を達成することができたか。</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平常点 (授業態度・発表・発言・学習課題など) 20%、</li> <li>(2) 課題レポート 30%</li> <li>(3) 試験 50%</li> </ol> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針である学生個人の思考力、創造力、問題解決能力の育成を目的に、受講生には下記①～③の遵守を期待します。守れない場合は、授業態度の減点対象となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻・早退 (前後 20 分まで)、欠席の無いようにすること。やむを得ず欠席等する場合は書面 (メール含む) で理由を記載し教員に届け出ること。交通機関遅延による遅刻の場合は、遅延証明書に学籍番号と氏名を記載し提出のこと。遅刻・早退は 3 回で 1 回の欠席と集計します。なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めません。</li> <li>② 確認小テストやレポート課題を期日までに提出すること (氏名を必ず記載のこと)。</li> <li>③ 授業を受けるにあたり、各自教科書を持参のこと。授業中の私語、許可の無い携帯電話の使用、その他授業を妨げる行為を禁止する。</li> </ol> <p>なお、授業展開については、進捗状況・理解度にあわせ、順番等を変更する場合があります。</p>		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション : 「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」を学習するにあたっての説明と確認 「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の振り返り	事前学習	「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」で学習したことを説明できるようにする。
		事後学習	「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」のシラバスにて課題や各回の内容を確認する。
第 2 回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 (1) : 総合的かつ包括的な支援の考え方について理解を深める	事前学習	多様化・複雑化した生活課題への対応方法についてテキスト pp. 2～21 を用いて内容を明らかにする。
		事後学習	総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。

第3回	総合的かつ包括的な支援の考え方についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第4回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 (2) : 家族支援の実際について学ぶ	事前学習	家族が抱える複合的な課題についてテキスト pp. 22~44 を用いてその内容を調べる。
		事後学習	家族支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第5回	家族支援についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	家族支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第6回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 (3) 地域支援の実際について学ぶ	事前学習	地域支援の特徴と必要な知識・スキルについてテキスト pp. 45~68 を用いてその内容を調べる。
		事後学習	地域支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第7回	地域支援についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	地域支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第8回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 (4) 非常時や災害時支援の実際について学ぶ	事前学習	災害ソーシャルワークの目的と留意点についてテキスト pp. 69~91 を用いてその内容を調べる。
		事後学習	災害ソーシャルワークの必要性について説明できるようにする。
第9回	非常時・災害時支援についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	災害ソーシャルワークの必要性について説明できるようにする。
第10回	ソーシャルワークにおける援助関係の形成 (1) : 援助関係形成の意義と概念について学ぶ	事前学習	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義についてテキスト pp. 92~106 を用いてその内容を確認する。
		事後学習	援助関係形成の意義と概念について説明できるようにする。
第11回	ソーシャルワークにおける援助関係の形成 (2) : 援助関係形成の形成方法について学ぶ	事前学習	社会福祉士倫理綱領 (及び行動規範) についてテキスト pp. 107~119 を用いてその内容を確認する。
		事後学習	援助関係の形成方法について説明できるようにする。
第12回	ソーシャルワークにおける援助関係の形成 (3) : 援助関係形成の留意点について学ぶ	事前学習	ソーシャルワークの実践レベル (ミクロ・メゾ・マクロ) についてその対象についてまとめる。
		事後学習	援助関係の形成方法の留意点について説明できるようにする。
第13回	ネットワークの形成 (1) : ネットワーキングについて学ぶ	事前学習	「ネットワークとネットワーキングの定義」についてテキスト pp. 120~142 を用いて調べる。
		事後学習	ネットワークの機能、ネットワーク構築のプロセスと手法について説明できるようにする。
第14回	ネットワークの形成 (2) : コーディネーションについて学ぶ	事前学習	「ソーシャル・キャピタル」についてテキスト pp. 143~151 を用いて調べる。
		事後学習	コーディネーション意義と目的について説明できるようにする。
第15回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (1) : 社会資源の活用・調整について学ぶ	事前学習	「社会資源の種類と内容」についてテキスト pp. 152~174 を用いて調べる。
		事後学習	社会資源活用の意義と目的について説明することができる。
第16回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (2) : 社会資源の活用・調整に係る事例の検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	社会資源の活用・調整について、事例を通じて確認できたことをまとめる。
第17回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (3) : ソーシャルワーク実践と社会資源との関係について理解する	事前学習	「ジェネラリスト・ソーシャルワーク」とは何かについてまとめる。
		事後学習	ソーシャルワーカーの介入方法と社会資源との関係について説明することができる。

第18回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (4) : 社会資源開発のさまざまな方法について学ぶ	事前学習	「社会資源開発の方法」についてテキスト pp. 175～189 を用いて調べる。
		事後学習	社会資源開発に必要なソーシャルワーカーのスキルについて説明することができる。
第19回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (5) : 社会資源開発に係る事例の検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	社会資源開発について、事例を通じて確認できたことをまとめる。
第20回	カンファレンス (1) : 会議の種類と方法について学ぶ	事前学習	「会議の種類」についてテキスト pp. 190～194 を用いて調べる。
		事後学習	ソーシャルワーカーが関わる会議について説明できるようにする。
第21回	カンファレンス (2) : ミクロ・メゾ・マクロの視点から会議について理解を深める	事前学習	ミクロ・メゾ・マクロの概念についてテキスト pp. 195～221 を用いて調べる。
		事後学習	ミクロ・メゾ・マクロの会議とはそれぞれどのようなものが該当するのかをまとめる。
第22回	事例分析・事例検討・事例研究の活用 (1) : 事例分析について学ぶ	事前学習	「事例分析とは」についてテキスト pp. 222～227 用いて調べる。
		事後学習	事例分析の意義と目的について説明できるようにする。
第23回	事例分析・事例検討・事例研究の活用 (2) : 事例検討について学ぶ	事前学習	「事例検討とは」についてテキスト pp. 228～234 を用いて調べる。
		事後学習	事例検討の意義と目的について説明できるようにする。
第24回	事例分析・事例検討・事例研究の活用 (3) : 事例研究について学ぶ ～福祉現場で働く人の実践を視聴する機会をもつ	事前学習	「事例研究とは」についてテキスト pp. 235～251 を用いて調べる。
		事後学習	事例研究の意義と目的について説明できるようにする。
第25回	ソーシャルワーク技術 (1) : ネゴシエーションについて学ぶ	事前学習	ネゴシエーションの意義と留意点、交渉の基本についてテキスト pp. 252～263 を用いて内容を調べる。
		事後学習	ネゴシエーションのプロセスについて説明できるようにする。
第26回	ソーシャルワーク技術 (2) : コンフリクト・レゾリューションについて理解する	事前学習	「コンフリクト・レゾリューションとは何か？」についてテキスト pp. 264～276 を用いて調べる。
		事後学習	コンフリクト・レゾリューションについて説明できるようにする。
第27回	ソーシャルワーク技術 (3) : ファシリテーションについて学ぶ	事前学習	ファシリテーションの意義とファシリテーターの役割についてテキスト pp. 277～287 を用いて内容を調べる。
		事後学習	ファシリテーションのプロセスについて説明できるようにする。
第28回	ソーシャルワーク技術 (4) : プレゼンテーションについて学ぶ	事前学習	プレゼンテーションの意義と方法、留意点についてテキスト pp. 288～300 を用いて内容を調べる。
		事後学習	プレゼンテーションの方法について説明できるようにする。
第29回	ソーシャルワーク技術 (5) : ソーシャル・マーケティングについて理解する	事前学習	「ソーシャル・マーケティングとは何か？」についてテキスト pp. 301～315 を用いて調べる。
		事後学習	ソーシャル・マーケティングについて説明できるようにする。
第30回	まとめ(全体のふりかえり) 全回講義内容を整理し、期末課題に取り組む。 (期末試験の代替え)	事前学習	これまでの学習内容を振り返り、不明な点等を明らかにする。
		事後学習	期末課題を振り返る。